

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ブンキョウガクインダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) マワタリ
文京学院大学	経営学部	馬渡ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ハマカゼハン	フリガナ) タカダ ナツキ	7	無	
浜風班	高田 菜月			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

ナイトタイムエコノミー ～那須町黒田原地域活性化への挑戦～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究は、ナイトタイムエコノミーの取り組みを通じた那須町の活性化とする。

ナイトタイムエコノミーとは、夜間の消費活動の総称である。日本では、ナイトプール、ハロウィンといった夜間経済活動のイベントがほとんど都市に集中している。地方ではあまり行われていない。ナイトタイムエコノミーが地方の活性化に対して有効かどうかを那須町黒田原地域で検証し、地方のナイトタイムエコノミーのモデルタウンを目標に私たち学生の視点で、解決策を提案、実行していく。

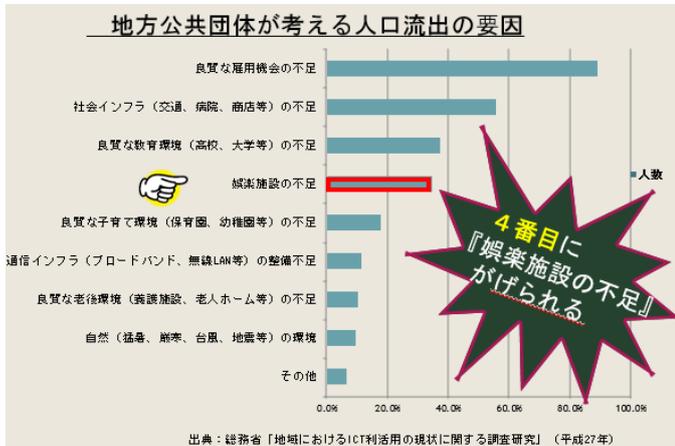
2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

日本の地方は、人口減少の一途をたどる大きな社会問題となっている。総務省の人口移動報告によると、三大都市圏以外の転出が約 10 万人であり、東京圏を中心に転入している。その転出の要因としては、雇用、インフラ、教育、の不足に次いで 4 番目に「娯楽施設の不足」であると分かった(図 1)。

平成 18 年と平成 23 年で比較すると、わずか 5 年で 122 万人も夜間に活動している人が増えているため、消費機会が変わ

ってきている。娯楽施設は、現代において夜間市場も無視できなくなっている。研究概要で述べた通り、都市ではナイトタイムエコノミーが集中しているが、地方ではあまりその活動が行われていない。

夜間消費活動を調べている中、町を新しい消費の観点から元気にしたいと那須町から依頼を受け、実際に現場で調査、ヒアリングをしてみたところ、多くのレジャー施設を有する那須町でも閉店時間は早く、消費者の活動ニーズに応えきることができていない（図 2）。以上のことから、地方が抱えている問題は那須町にも類似点があることが分かった。



(図 1)

栃木県那須町のレストラン	開店時間	閉店時間
大原レストラン	11:00	20:00
テラスレストラン	11:00	21:00
中華料理天津	11:00	17:00
カフェレストラン メルクマール	11:30	15:00
レストランミモザ	11:00	14:00
パスタ専門店クーシ	11:00	17:00
蒸気汽関車	10:00	19:00
本格中国・四川料理レストラン鈴（りん）	11:30	14:00
田舎料理 与一	11:30	15:00
うなぎ料理丁子屋	17:00	21:00
那須の恵みMekke! ブッフェ&マルシェ ランチ	11:00	15:00
アワーズダイニング	11:30	15:00
	18:00	21:00

浜風町調べ

(図 2)

3. 研究テーマの課題

上記でも述べた通り、地方が抱えている問題には那須町も類似点がある。消費者の活動ニーズに応えきれていない、年々人口の流出が増加している。このような点から、①夜間に営業しているところが少ない、②夜間に若者が楽しめる娯楽施設がないの2つの要素が課題である。こうした那須町をケースに地方でナイトタイムエコノミーが有効かどうかを検証する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちが設定した課題を解決するための施策として、那須町黒田原地域を夜間の消費活動を通して活性化させる。地方型ナイトタイムエコノミーのモデルタウンをつくり、先行事例としていきたい。黒田原地域は、もともと農業地域であったが、鉄道の駅ができ町役場等町機能の中心になった。観光地ではないため、那須といったときに思う浮かぶ場所ではない。

町が抱えている課題に対して“町自身”も取り組みを行っている。その中核が「黒田原駅前マルシェ 宵の市」である。那須町の地域づくり事業の一つであり、活性化の可能性を秘めている。黒田原地域は、このマルシェによって協働のまちづくりを推進しており地域の創意工夫により特色ある事業や地域の魅力を高めようとしている。地域と行政が協働で取り組んでいるものであり、地域の憩いの場になっている。しかし、域外からの来場者を迎える、といった点に関してはまだ改善点が多くある。本プロジェクトを通じて域外来場者を増やす方策を提案していく。

文京学院大学という域外の学生を介入させることで、マルシェの課題の解決を目指す。そして地方ならではの夜間消費活動の検証、共同活動を行っていく、プロジェクト名は「なすくろナイトエコノミー☆」である。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは、4月から8月にかけて、マルシェの来場者、出展者にアンケート等の調査を行うとともに、8月には商品販売、ライトアップを実施した。

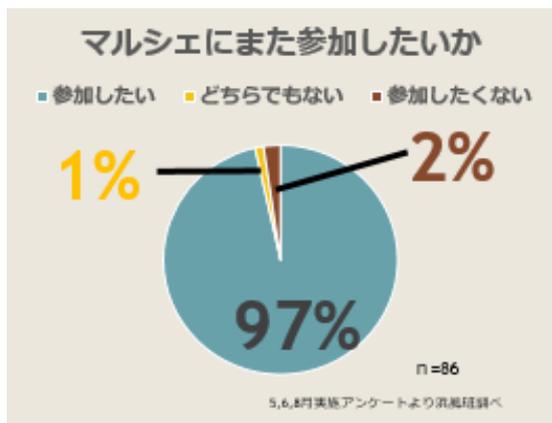
マルシェの実行委員会や那須町の主要施設であるリゾートホテル、地元の学校に訪問し、マルシェの認識度を調査した。そこから、雰囲気づくり、一体感といった改善策を見出し、那須町民、20代～30代女性にターゲットを定め、8月の商品販売、ライトアップの2点を実施した。

商品販売では、地元で取れた野菜やチーズで作った料理やカクテルの提供で町の魅力を再確認してもらい、観光客には那須町ならではのものをPRすることを目的に実施した。ライトアップでは、地元のカフェと共同で会場の雰囲気づくり、ライトアップの瓶に出展者からサインをもらい地域交流のきっかけの場を設けた。

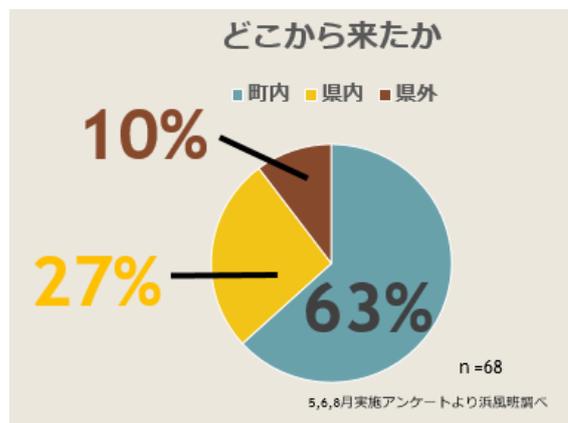
6. 結果や今後の取り組み

参加者のマルシェにまた参加したいかのアンケート結果から、97%と高いリピート願望率があるということが分かった（図 1）。し

かし、参加者の内 63%が町内からの来場者のため、町外からの来場者は少ないと言える（図 2）。そのため、より一層の集客の努力が必要である。以下の 5 つが今後の取り組みとなる。①宿泊客からの集客、②域外からの集客、③他地域のマルシェとの連携、④広報の強化、⑤文京祭の参加、である。この 5 つを今後の取り組みにすることで那須町黒田原を地方のナイトタイムエコミーのモデルタウンに近づけていきたい。



(図 1)



(図 2)

7. 参考文献

- 「夜遊び」の経済学 世界が注目する「ナイトタイムエコミー」木曾崇著（2017）
- 総務省 統計局平成 28 年社会生活基本調査 生活行動に関する結果（総務省統計局）
<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/kekka.html>（閲覧日：2018 年 5 月 21 日）
- 学習院大学 経済学部 教授 青木幸弘「近年における消費者行動の変化と研究上の課題 消費者行動研究の新たな方向性と可能性を考える」https://www.j-mac.or.jp/mj/download.php?file_id=307
（閲覧日：2018 年 5 月 26 日）
- 総務省「地域における ICT 利活用の現状に関する調査研究」（平成 27 年）
http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/linkdata/h27_07_houkoku.pdf（閲覧日：2018 年 5 月 26 日）
- 総務省統計局住民基本台帳人口移動報告（2011 年－2013 年）
<http://www.soumu.go.jp/schresult.html?q=%E4%BD%8F%E6%B0%91%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E5%8F%B0%E5%B8%B3%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E7%A7%BB%E5%8B%95%E5%A0%B1%E5%91%8A>（閲覧日：2018 年 6 月 8 日）
- 東洋経済オンライン 「夜遊び振興」こそ日本経済を救う最終戦略だ
<http://toyokeizai.net/articles/-/178736>（閲覧日：2018 年 6 月 8 日）
- マーケジン 「死に時間」を「消費機会」に。ナイトタイムエコミーのポテンシャル
<https://markezine.jp/article/detail/27053>（掲載日 2018 年 6 月 9 日）
- Excite ニュース 注目を浴びる「ナイトタイムエコミー」——“夜の経済活動”で日本は変わるのか？
http://www.excite.co.jp/News/column_g/20170627/Shueishapn_20170627_87073.html（閲覧日：2018 年 6 月 9 日）
- クローズアップ現代
<http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4055/index.html>（閲覧日：2018 年 6 月 9 日）
- 日本の観光統計データ
<https://statistics.jnto.go.jp/graph/>（閲覧日：2018 年 6 月 9 日）
- 訪日ラボ
- <https://honichi.com/news/2017/12/14/inbounddiscussion/>（閲覧日：2018 年 6 月 9 日）
- 2017 年 外国人が一番来た都道府県は？ 都道府県別外国人訪問数ランキング

<http://inbound.coread.jp/2018/02/08/093943/> (閲覧日: 2018年6月10日)

- 【急上昇!?】日本は世界の観光客数ランキングで何位なのか? 国連観光統計 2017 を読む。

<https://chibra.co.jp/taiken/japan-in-world-tourism-market-2016/> (閲覧日: 2018年8月27日)

- “夜の経済活動”活性化に向け必要なことは

<http://www.news24.jp/articles/2017/12/19/06380946.html> (閲覧日: 2018年6月13日)
那須町ホームページ

<https://www.town.nasu.lg.jp/0049/info-000000259-1.html> (閲覧日: 2018年6月13日)

- 日テレ NEWS 24 夜の経済活動「健全に文化として発展」が肝

<http://www.news24.jp/articles/2018/03/15/07388080.html> (閲覧日: 2018年6月13日)

- ナイトタイムエコノミーとは? 訪日観光客に向けた新しい経済活動を知ろう <https://ferret-plus.com/8674> (閲覧日: 2018年6月14日)

- 東洋経済オンライン「ナイトタイムエコノミーって何だろう？」

<https://toyokeizai.net/articles/-/206826> (閲覧日: 2018年6月14日)

- ジャパンガイド「アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」(平成28年版) |公益財団法人日本交通公社

<http://rank.japan-guide.co.jp/> (閲覧日: 2018年9月17日)

- 「夜遊び振興」こそ日本経済を救う最終戦略だ

<https://toyokeizai.net/articles/-/178736> (閲覧日: 2018年9月17日)

- 「夜遊び」が日本を救う? 「ナイトタイムエコノミー」のススメ

<https://jisin.jp/domestic/1623347/> (閲覧日: 2018年9月18日)

- 平成29年地域づくり事業活動報告

<https://www.town.nasu.lg.jp/0237/info-000000315-1.html> (閲覧日: 2018年9月18日)

- まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/meeting/tihousousei_setumeikai/h30-01-11-shiryuu1-2.pdf (閲覧日: 2018年9月1日)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください